

- 問1 19世紀までの近代国家で重視されていた「自由権」に対し、現代の国家において「社会権」が保障されるようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 資本主義の発達により生じた貧富の差や失業などの社会問題を解決し、国民に人間らしい生活を保障する必要が生じたため | 2. 行政の不当な行為によって損害を受けた際に、国に対して賠償や裁判を求める権利を充実させるため | 3. 国家による不当な逮捕や拷問を防ぎ、個人の身体的自由を厳格に守る必要性が高まったため | 4. 主権者である国民が自らの代表者を選出し、国の政治運営に直接的または間接的に関わる権利を確立するため |
|--|--|--|--|
- 問2 人権を守るための「請求権」の一つに、刑事裁判において勾留されたものの、最終的に無罪の判決が確定した場合に、国に対して金銭的な支払いを求めることができる権利があります。この権利を何といいますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|--------|------------|
| 1. 刑事補償請求権 | 2. 裁判を受ける権利 | 3. 生存権 | 4. 国家賠償請求権 |
|------------|-------------|--------|------------|
- 問3 インターネットなどの情報が進展した現代社会において、自由権に基づき個人の意見を表明したり情報発信を行ったりする際、特に両立させることが求められている配慮として適切なものはどれか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 個人の自由は絶対的であるため、どのような内容であっても責任を負わないこと | 2. インターネット上での情報発信を、選挙権を持つ者に限定すること | 3. 国家の安全を第一に考え、公の場での発信をすべて事前検閲すること | 4. 他人の名誉毀損やプライバシー侵害を防ぎ、他人の人権を尊重すること |
|---|-----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問4 日本国憲法第25条第1項では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。この条文で保障されている権利の名称として適切なものを選んでください。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 生存権 | 2. 財産権 | 3. 幸福追求権 | 4. 参政権 |
|--------|--------|----------|--------|
- 問5 日本国憲法第25条第2項では、国が「社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と定めています。この生存権の理念を実現するために、生活に困窮する国民に対して国が一定の給付を行い、最低限度の生活を保障しつつ自立を助ける制度はどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 普通選挙制度 | 2. 裁判員制度 | 3. 生活保護制度 | 4. 独占禁止法 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問6 日本国憲法において、犯罪の疑いを受けて逮捕された被疑者や、起訴された被告人の人権を守るために定められている原則として、適切なものはどれか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 公共の福祉のためであれば、いかなる理由でも令状なしに逮捕できる。 | 2. 自己に不利益な供述を強要されない権利（黙秘権）が保障されている。 | 3. 18歳以上の全ての国民は、衆議院議員への立候補が認められている。 | 4. 公費で弁護人を依頼できるのは、民事裁判の場合に限られている。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問7 日本国憲法において、参政権や裁判を受ける権利などは、しばしば「人権を守るための権利」と呼ばれます。その理由として最も適切な背景・目的を選びなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 国からの干渉を一切排除し、個人の精神的な自由や身体的自由を絶対的に守ることがこの権利の唯一の目的だから。 | 2. 経済的な弱者が人間らしい生活を送れるよう、国に対して金銭的な補償を強制させるための直接的な手段だから。 | 3. 自由権や社会権などの基本的人権が侵害された際に、その回復を求めたり、侵害を防ぐ仕組みを政治に反映させたりするために不可欠な権利だから。 | 4. 国民一人ひとりの意見をすべて集約しなければ、法律を制定することができないという厳格な手続きを定めるためだから。 |
|---|--|--|--|
- 問8 日本国憲法に示されている「公共の福祉」の役割と、それに基づく制限の考え方として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 経済的に困窮している人々に対し、国が生存権を保障して最低限度の生活を支える役割 | 2. 個人の尊重を前提としつつ、人権と人権が衝突した際に互いの権利を調整する役割 | 3. 国の財政を安定させるために、個人の自由よりも国家の利益を常に優先させる役割 | 4. 人種や信条によって差別されことなく、すべての国民を等しく扱うことを求める役割 |
|--|--|--|---|
- 問9 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。この条文によって保障されている、人間らしい生活を求めることができる権利の名称を答えなさい。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 生存権 | 2. 自由権 | 3. 平等権 | 4. 参政権 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 日本国憲法が保障する「参政権」が、日本の政治制度において果たしている役割についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. すべての国民が差別されることなく平等に扱われるよう、法律の適用において公平性を確保する役割。 | 2. 国や地方公共団体に対し、基本的人権が侵害された際にその救済や賠償を求めることで、個人の権利を守る役割。 | 3. 主権者である国民が、みずからの代表者を選挙で選出したり直接意思を表明したりすることで、政治に国民の意見を反映させる役割。 | 4. 国家による権力の行使を制限し、個人の内心の自由や経済活動の自由が侵害されないように防波堤となる役割。 |
|---|--|---|---|
- 問11 日本において、政府が家計に対して年金や医療などの社会保障サービスを提供する仕組みは、憲法の規定に基づいています。日本国憲法第25条で「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定められているこの権利を何といいますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|------------|
| 1. 財産権 | 2. 生存権 | 3. 参政権 | 4. 国家賠償請求権 |
|--------|--------|--------|------------|
- 問12 表現の自由は無制限に認められるものではなく、他人の人権を侵害する場合などには一定の制限を受けることがあります。しかし、表現の自由が「精神的自由」として特に強く保護される理由の一つとして、一度失われると回復が困難であり、独裁的な政治を招く恐れがあることが挙げられます。このような表現の自由の性質を説明する文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 職業選択の自由や居住・移転の自由といった、経済的な活動を円滑に進めるための権利であるため | 2. 国政選挙において投票を行うための、参政権の具体的な内容そのものであるため | 3. 憲法第25条で規定される、健康で文化的な最低限度の生活を営むための基盤であるため | 4. 個人の自己実現だけでなく、国民が政治に参加する自己統治の価値を持っているため |
|---|---|---|---|